

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	5c	ユニット毎に目標に運動したサービスの実施記録とまではなっていないため、モニタリングにも活用しやすく、どの職員が見ても日々のサービス実施により、目標達成状況などが分かりやすい記録様式を作成したり、日々の個人記録に課題や短期目標を転記して、職員が確認しながらサービスの実施記録を記載方法の検討が必要である。	介護スタッフが、日頃から介護計画書の内容を認識しやすくなる。	毎日の各利用者様の介護委記録に介護計画書の短期目標を記載する。短期目標について、ミーティングなどで話やすくする。	3 か月	2階については2021年8月の介護記録から実施。1階については順次行っていく。
2	29a	職員は勉強会等で、玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。現在のはコロナ禍においての外部者や業者との接触を避ける為に施錠している。施錠していることで、利用者様の行動範囲を狭めているかもしれない。	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、玄関の施錠を行わない。	出入口の施錠の弊害について、スタッフに継続して認識してもらうようにミーティングなどで話し合いを行い、今後、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら施錠を解いていく。	未定 か月	
3	37cg	事業所の開設時からコロナ禍のため、事業所では今までに家族の参加できる行事などは開催できていない。	利用者が家族様との関係を継続しいけるような支援作りを行う。	窓越しの面会、LINE、ZOOMなどを活用を継続し、利用者様と家族様とのコミュニケーションの場を設けていく。	1 か月	窓越しでの面会、現在もLINE、ZOOMを使用して、家族様とコミュニケーションを取っている。他施設間へ入所している、親戚や家族様にテレビ電話を行った。
4	40d	現在は、利用者の状況や行事などの活動内容、毎月の課題や避難訓練の状況などを書面で報告し、メンバーから意見を募っているが意見はほとんど出されていない。事業所に夜中などに救急車を呼ぶことも多いため、管理者等が近隣住民に迷惑をかけてないか確認したところ、お互いさまとというような回答をもらっている。今後、集合形式での会議が開催できるようになった際には、利用者の様子やサービスの実際などの報告をするほか、行事や避難訓練に合わせて会議を開催したり、利用者と一緒に食事会を開催したりするなど、工夫しながら活発な意見交換ができることを期待したい。	運営推進会議の実施、地域とのコミュニケーションを図る。	新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら、運営推進会議を実施していく。地区の公民館での出し物を検討中。	6 か月	運営推進会議実施未定、継続して書類で通知する。
5	49d	今後は、職員のサービスの振り返りとなる項目もあることから、自己評価の作成をより多くの職員で取り組んだり、職員間で話し合いをしながら取りまとめたりするなど、協力しながら作成できることを期待したい。また、目標達成計画の作成や達成に向けた取組み状況も、職員間で共有できることも期待したい。	運営推進会議などの場所にて、外部評価の結果を通知する。	運営推進会議などの場所にて、外部評価の結果を連絡していく。	3 か月	次回10月の運営推進会議にて外部評価の実施について、織り込んでいきたいと思う。

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。